

(お知らせ)

令和3年12月1日  
防 衛 省

米空軍三沢飛行場所属F-16戦闘機による青森空港への緊急着陸及び燃料タンクの投棄に関する防衛省の対応について

11月30日(火)午後6時頃に発生した、米空軍三沢飛行場所属F-16戦闘機による青森空港への緊急着陸及び燃料タンクの投棄に関する事案についての防衛省の対応を以下のとおりお知らせします。

- この事案への対応に関し、本日、省内の幹部を集めた会議を開催し、この場において、岸防衛大臣から、以下のとおり指示をしました。
  - ・米側に対し、飛行の安全が確認されるまでの間、F-16戦闘機の飛行を行わないよう求めること。
  - ・米側に対し、当省及び地元に対する十分な情報提供を行うよう求めること。
  - ・当省として、米国との連携、情報収集・分析を密に行い、対応に万全を期すこと。
- 事案の発生に際し、東北防衛局長その他の職員を青森空港及び深浦町に派遣しました。青森空港においては、昨晚から所要の調整を行い、本日未明、F-16戦闘機は、同空港内の民間航空の運航に影響のない場所に移動が完了しました。深浦町においては、本日未明から現地の状況を確認しております。
- 本日、鬼木防衛副大臣を現地に派遣します。深浦町及び青森県を訪問する予定です。
- 東北防衛局から地元関係自治体に、随時、情報提供を行っております。
- 地方協力局長から在日米軍司令部司令官に対し、及び東北防衛局長から米空軍三沢基地司令官に対し、住民の安全で平穏な生活に深刻な影響を与えかねない極めて遺憾な事案である旨等伝えるとともに、情報提供、安全管理の徹底、原因の究明、再発防止等について申し入れをしました。

(参考：事案の概要)

- ・ 米空軍三沢飛行場所属F-16戦闘機1機に何らかのトラブルが生じたため、同戦闘機は、午後6時12分頃に青森空港に緊急着陸しました。
- ・ 青森空港への緊急着陸に備え、同戦闘機から燃料タンク2個が投棄され、うち1個が青森県深浦町内に落下し、1個が岩木山近傍に落下した模様です。
- ・ 同戦闘機の緊急着陸に伴い、青森空港の滑走路が閉鎖されたことにより、同空港の民間航空機に欠航等の影響が生じました。

以 上